

2/23-3/1#6天においても地においても、いっさいの権威を持つ方としてのキリスト: I. 私たちは「権威」についての定義を持つ必要があります: A「権威」についての最上の定義は、「命令を発し、決定し、服従を強いる権力または権利であり、しばしば権力の地位あるいは専門知識から生じるもの」です。B聖書の中で「権威」とは、「権力を行使する道徳上の権利であり、究極的には神から生じる、また神を起源とするもの」です。

II. 神は最高の権威です。彼はすべての権威を持っています: ローマ9:21 それとも陶器師は土くれ

に対して、同じかたまりから一つを尊い器に、もう一つを卑しい器に、造る権威を持っていないのですか? A神の権威は、神ご自身を代表します。神の力は、神の働きだけを代表します。B神の権威は、実は神ご自身です。権威は、神ご自身の存在から出て来ます。啓22:1 また御使いは、水晶のように輝く命の水の川を私に見せた。それは神と小羊の御座から、大通りの中央を流れていた。

Cすべての権威は、霊的なものであれ、地位上のものであれ、行政上のものであれ、神から出て来ます。D私たちは神の権威に触れるとき、神ご自身に触れます: 1神の権威に出会うことは、神に出会うことと同じです。2神の権威に対して罪を得ることは、神ご自身に対して罪を得ることと同じです。

E私たちが神との関係において、権威に触れること以上に重要なことはありません。F権威を認識することは、内側の啓示であって、外側の教えではありません。G神だけが、人に対する直接的な権威です。他のすべての権威は、間接的な権威、すなわち、神によって立てられた代理権威です:

1私たちは神の権威に出会う時はじめて、神が立てた代理権威に服従することができます。2神は、私たちが神だけに服従することを求めているのではなく、すべての代理権威にも服従することを求めています。ヘブル13:17 あなたがたを導く人たちに従い、彼らに服しなさい。なぜなら、彼らは弁明する者として、あなたがたの魂を見守っているからです。1ペテロ5:5 同じように、若者たちよ、年長者たちに服しなさい。またあなたがたはみな、互いに謙その帯を締めなさい。なぜなら、神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。3神の間接的な権威に服従しない者たちは、神の直接的な権威に服従することができません。4神は、私たちが間接的な権威に、すなわち代理権威に服従することを求めます。それは、私たちが霊的な供給を受けるためです。H私たちすべては、権威に出会い、神によって制限され、彼の代理権威の導きを受けなければなりません。

III. 宇宙には二つの大きな原則があります。それは、神の権威とサタンの反逆です。神とサタンとの間の唯一の争いは、権威と関係があります:

A反逆は、神の権威を否定することであり、また神の支配を拒絶することです: 1サタンは、もともとは神によって創造された天使長でした。しかし、彼の高ぶりのゆえに、彼は自分自身を高く上げ、神の主権を侵し、神に反逆し、神の内敵となり、自分自身の王国を設立しました。2人は罪を犯したとき、神に反逆し、神の権威を否定し、神の支配を拒絶しました。バベルで、人は集団で神に反逆し、地上から神の権威を廃棄しました。Bサタンは神の権威に反逆し、また人は神に反逆することによって神の権威を侵しますが、神はこの反逆を継続させません。神は地上にご自身の王国を設立します。C宇宙における争いの中心は、だれが権威を持っているかということと関係があります: 啓4:2 直ちに、私は霊の中にいた。すると見よ、御座が天に据えられていて、その御座に座している方がおられた。

1私たちはサタンと戦って、権威が神と共にあることを肯定しなければなりません。2私たちは、神の権威に服従し、神の権威を維持するよう、決意する必要があります。マタイ11:25 その時、イエスは答えて言われた、「父よ、天と地の主よ、あなたをほめたたえます。あなたはこれらの事柄を知恵や学識のある者から隠して、幼子たちに啓示してくださいました。D反逆の罪は、他のどのような罪よりも重大です。

IV. 権威(代理権威)をもって神を代行する人は、以下の資格を持たなければなりません: A権威に服従しなければなりません。マタイ8:9 というのは、私も権威の下にある者ですが、私の下にも兵卒たちがいて、そこで、私がこの者に『行け』と言えば、彼は行き、あの者に『来い』と言えば、彼は来ますし、私の奴隷に『これをせよ』と言えば、彼はそれを行なうのです。B自分自身の中では何の権威も持っていないことを認識しなければなりません。C神のみこころを知っていなければなりません。D自己を否む者でなければなりません。マタイ16:24 それから、イエスは弟子たちに言われた、「だれでも私について来たいなら、自分を否み、自分の十字架を負い、私に従って来なさい。E主と一になり、主との継続的で親密な交わりの中で生きていなければなりません。F主観的であってはならず、自分自身の感覚にしたがって行動してはなりません。G他の人たちの取り扱いにおいて親切で、恵み深くなければなりません。H復活の中の人となって、キリストの復活の命の中で生きていなければなりません。I神の御前で低い地位を取らなければなりません。J反対に耐えることができる人

でなければなりません。K自分は無能でふさわしくないという感覚を持っていなければなりません。L適切に神を代行する者でなければなりません。V最も重要な祈り、また最も霊的な祈りは、権威の祈りです:マルコ11:23 まことに、私はあなたがたに言う。だれでもこの山に向かって、『持ち上げられて、海に投げ込まれよ』と言い、心の中で疑わず、自分の言うことは成ると信じるなら、そのとおりになる。24 こういうわけで、私はあなたがたに言う。あなたがたが祈って求めるものはすべて、受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになる。A権威の祈りは、権威に基づいた命令です:1権威の祈りは、命じる祈りです。2神の御前で重みと価値のある祈りを持ちたいなら、私たちは神の御前で権威のある命令を発することができる必要があります。B権威の祈りには二つの面があります。すなわち、縛ることと解くことです:1普通の祈りは、縛ることと解くことを神に求める祈りです。2権威を伴った祈りは、私たちが権威を行使することによって、縛りまた解く祈りです。C権威をもって祈るとは、マルコ11:20~24の祈りをするということです。それは、神に向けられているのではなく、「この山」に向けられている祈りです:1権威を伴った祈りは、何かを行なっただけでなく、神に求めるものではありません。そうではなく、神の権威を行使し、この権威を適用して、取り除かれるべき問題また事柄を対処します。2権威を伴った祈りは、直接、神に求めることではありません。そうではなく、神の権威を直接、適用することによって問題を対処することです。3勝利者の最も重要な働きは、御座の権威を地にもたらすことです。勝利者になりたいなら、私たちは権威をもって祈ることを学び、山に向かって語らなければなりません。D召会は権威をもって祈るとき、ハデス[陰府]を支配します:1召会には権威があり、あらゆるサタン的な事柄を支配します。2召会は、祈りによって邪悪な霊どものすべての活動を征服すべきであり、また祈りを通して支配権を行使すべきです。E私たちが権威の祈りをしようとするなら、まず私たち自身が神の権威に服従しなければなりません。私たちが神の地位に関して神の権威に服従しない限り、また日常生活の中で、すべての実際的な事柄の中で、神の権威に服従しない限り、私たちは権威をもって祈ることはできません。F権威の祈りは、天をその出発点とし、地をその到着点としています:エペソ1:22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。23 この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満

たしている方の豊満です。1権威を伴った祈りは、天から地へと祈られます。すなわち、それは天上の地位から始まり、天から地へと下に向かいます。2下に向かって祈るとは、キリストが天上で私たちに与えてくださった地位に立つこと、権威をもってサタンに命じ、彼のすべての働きを拒絶すること、神のすべての命令は成し遂げられるべきであることを、権威をもって宣言することです。G祈りの地位は昇天の地位であり、祈りの権威も昇天の権威です。昇天におけるすべての祈りは、権威の祈りです:1権威の祈りとは、昇天の地位に立つことによって命令を発することのできる人による祈りです。2私たちが昇天の地位にいるなら、私たちの祈りは神の行政に等しいのです。それは彼の命令を執行することです。H私たちが天の地位と天の権威を持ち、こうして権威のある祈りを発することができるという程度にまでなると、私たちは御座におり、主と共に王として支配します:1この時点で、私たちの祈りは、権威のある祈りであるだけでなく、王として支配する祈りでもあり、私たちの祈りは神の行政、すなわち神の支配の執行となります。2私たちが進んで学ぶなら、私たちは神の永遠の定められた御旨の成就のために、そのような祈りを発することができるというところに到達するでしょう。I召会生活の中で、自分のキリストのからだの組み合わせの地位を認識して、互いに服従し、仕えることが必要だと感じます。奉仕の交わりの中で、自分の考えと異なる場合でも、からだの肢体の交わりに、特にその奉仕で指導的な機能を果たしている兄弟たちを開いて交わり、自分の欠点を認め、自己を否むことを訓練しています。私は多くの場合、「神には従うけれど、あのリーダー(あるいは決定)には納得できない」と考えてしまいます。しかし、「神が立てられた権威に服さない者は、神に服することはできない」のです。私は霊を活用しないで、兄弟姉妹の交わりをぼうっと聞いていたり、自分の観念に合わないので受け入れられず短気を起こしてしまったりすることがあります。前面の兄弟姉妹の助けによって、それに気づかされ、主の名を呼び、自分の罪を告白し、自己を否み、目の前の代理権威を「神からの訓練」として受け入れ、服従し始めたとき、内側に平安が戻り、霊的な供給が豊かに流れてくるのを実感しました。おお主イエスよ、私が権威に反逆していることについてさらに暴露してください。服従することを訓練して、さらに命の水の川が私の中へと豊かに流れてください。啓22:1 命の水の川...は神と小羊の御座から...流れていた。